

学校名	飯田東中学校	
ホームページURL	なし	生徒数 320 名
(1) テーマ 「りんご並木と人との関わり」 ～特別養護老人ホームとの交流を通して～ テーマの分類(、 エ) 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください 学級(同一学年) 3～4年 5～6年・学校・ その他() 該当学年 2 年 (回答可能な場合)	
(3) 活動のねらい 学年の中核活動である特別養護老人ホーム「飯田荘」への訪問やりんご並木活動を通して、福祉・健康に関わる課題を持ち、課題解決に向けて活動するとともに、奉仕活動へ意欲的に関わろうとする態度の醸成を図る。		
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) ・二学期以降、第1、3土曜日の午後、学年の有志が飯田荘を訪問。 ・上記の有志生徒が中心になり、年1回学級単位で飯田荘を訪問。 ・収穫したりんごを飯田荘へ持参し、お年寄りに食べていただく。また、総合学習の時間にアップルパイとアップルタルトを作り、プレゼントする。(11月) 時数(35)		
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) ・係職員が有志生徒とともに事前に施設職員と内容の打ち合わせ。 ・学年職員2、3名が引率。		
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) ・道徳、社会科などで体験活動を振り返りながら、命の大切さや共生について考えることを通して、福祉やボランティアの理解を深める。 ・技術・家庭科でアップルパイやアップルタルトの作り方をホームページで調べ、材料を用意し、調理する。 ・学級単位での訪問時には、事前に保護者へ通知することで生徒と一緒にボランティア活動に参加してもらう。		
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) ・生徒間では交流活動の姿に差は見られるものの、うまく関わることができなくても、関わりを持つことを努力している生徒の姿を、生活記録などで読み取り、学年・学級通信に掲載することで評価している。		
(8) 成果と課題 ・お年寄りとの交流を通して、生徒は「～してあげる」という立場から「一緒に活動する」「～を教えてもらう」などの意識が変わっていった。また、福祉や介護に関わる疑問や課題意識を持つようになった。 ・活動を通して、各自が持つ課題意識を、追究に値する課題に練り上げゴールを見通した活動に展開させるための教師の出はどうしたらよいか。		

テーマの分類 横断的・総合的な課題(ーア 国際理解 ーイ 情報 ーウ 環境
ーエ 福祉・健康 ーオ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や学校の特徴に応じた課題